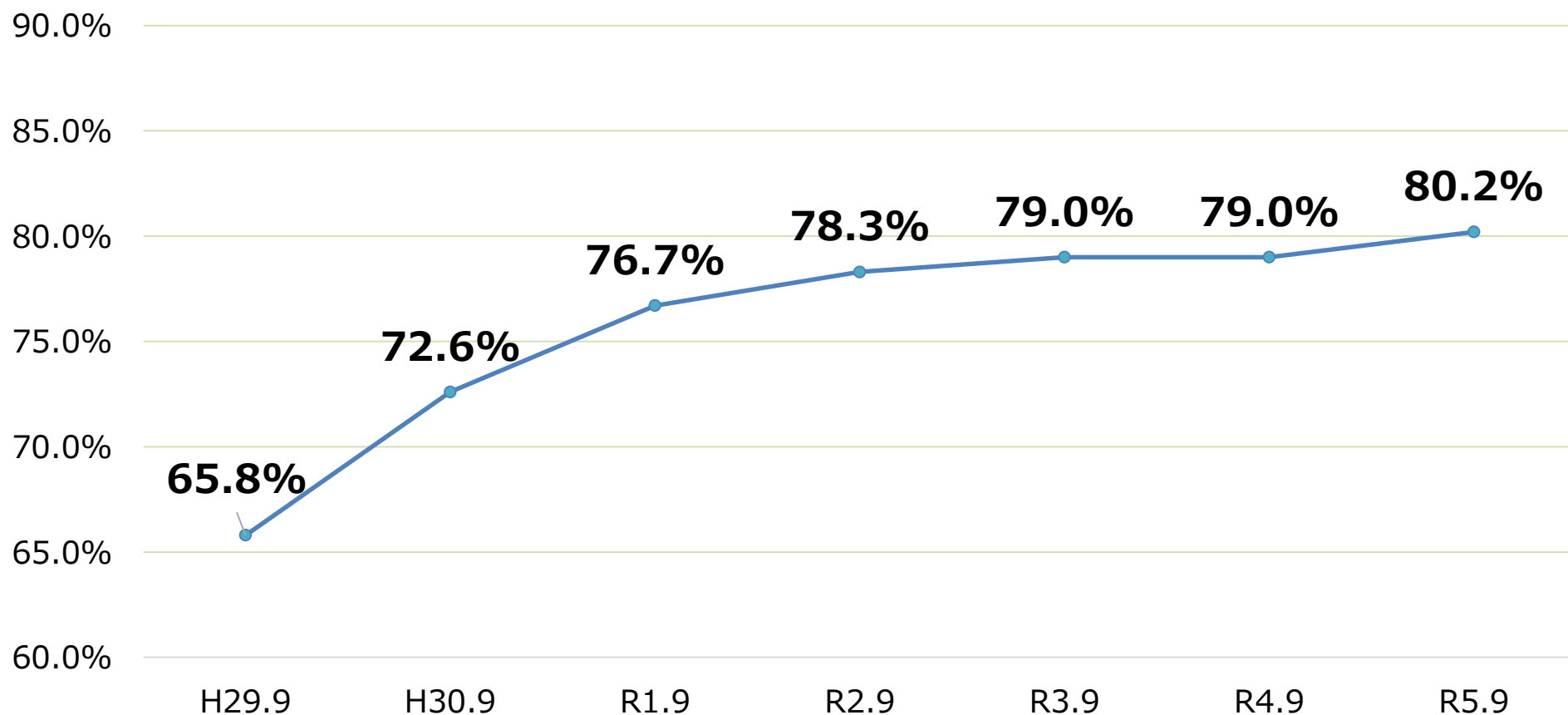


【全国】後発医薬品の使用割合（数量シェア）の推移

参考資料 7

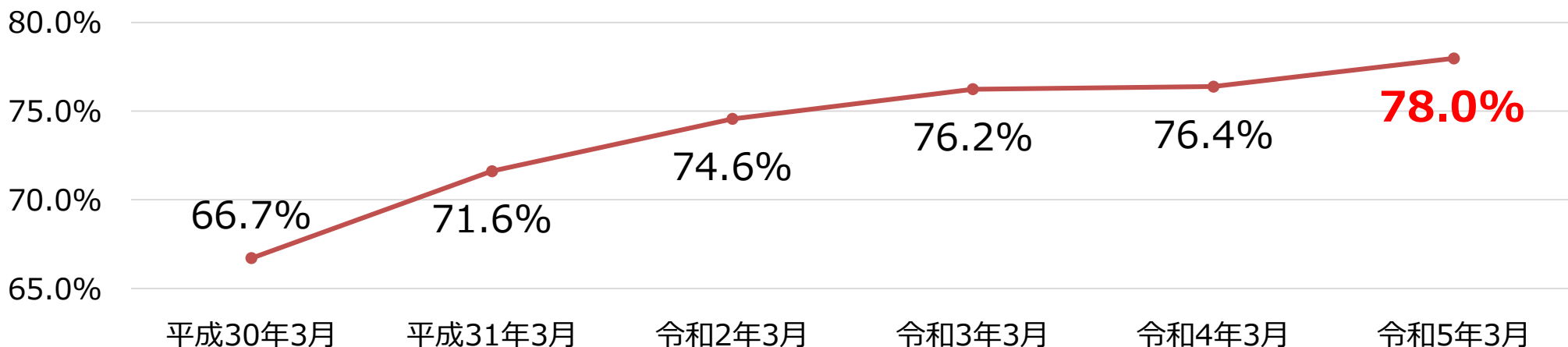
- 全国の後発医薬品の使用割合（数量シェア）は、**薬価調査**で把握している。令和5年9月時点において、80.2%であった。
- なお、都道府県別の使用割合については、**NDBデータ**で実績を把握している。



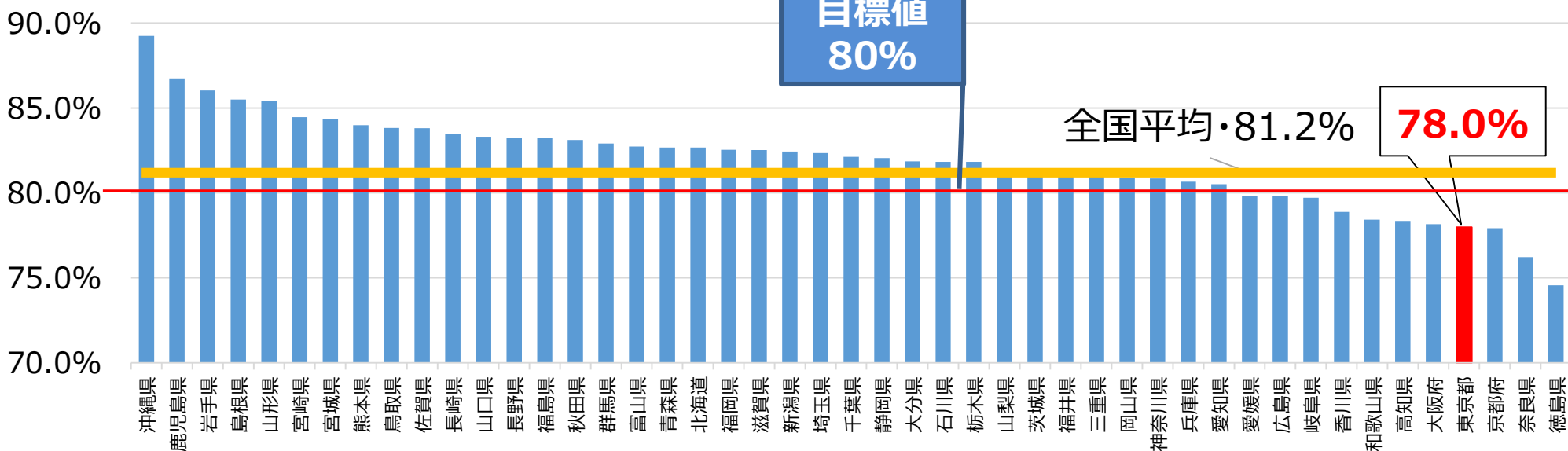
出典：厚生労働省「薬価調査」

【東京都】後発医薬品の使用割合（数量シェア）の推移

1 東京都における使用割合の推移



2 都道府県別使用割合（R5年3月期実績）

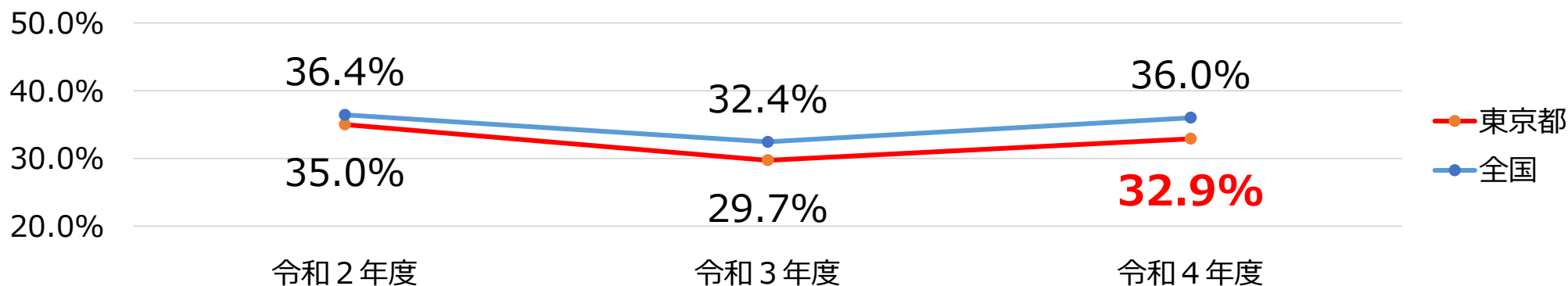


出典：厚生労働省「医療費適正化計画関係データセット（2022年度診療分NDBデータ）」

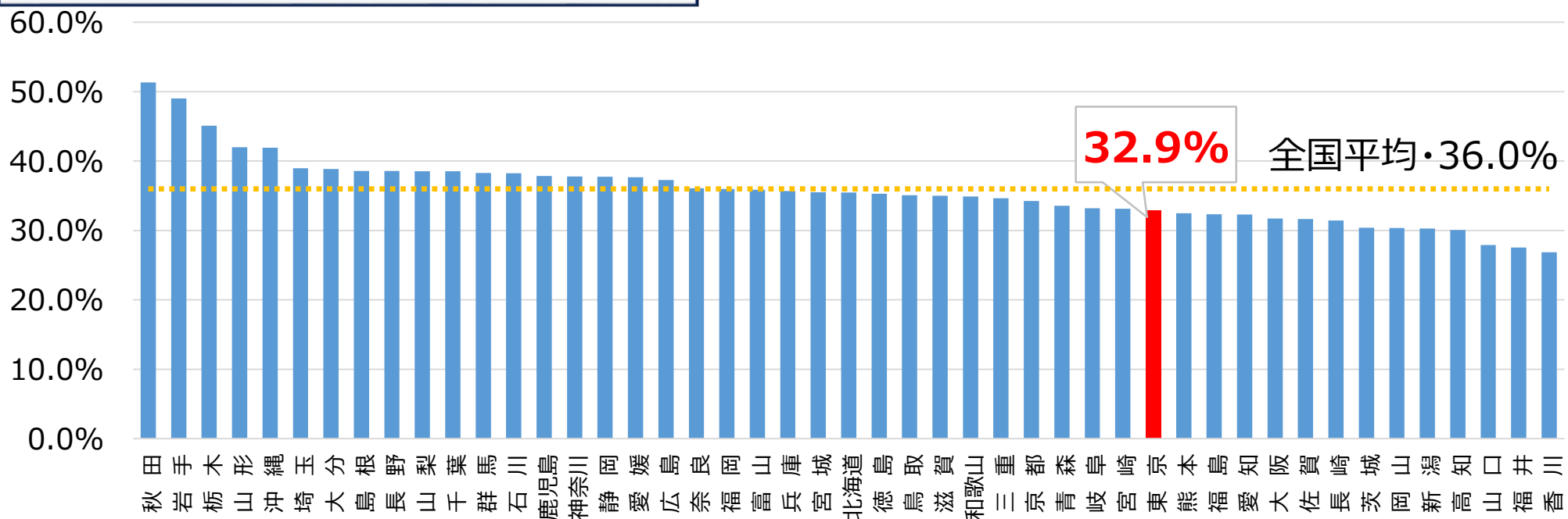
※実績値は各年度3月期のもの。レセプトデータ（医科・DPC・調剤・歯科）ベースに算定した値である。

【東京都】 バイオ後続品の使用割合（数量シェア）の推移

1 東京都における使用割合の推移



2 都道府県別使用割合（令和 4 年度実績）



出典：厚生労働省「医療費適正化計画関係データセット（2022年度診療分NDBデータ）」

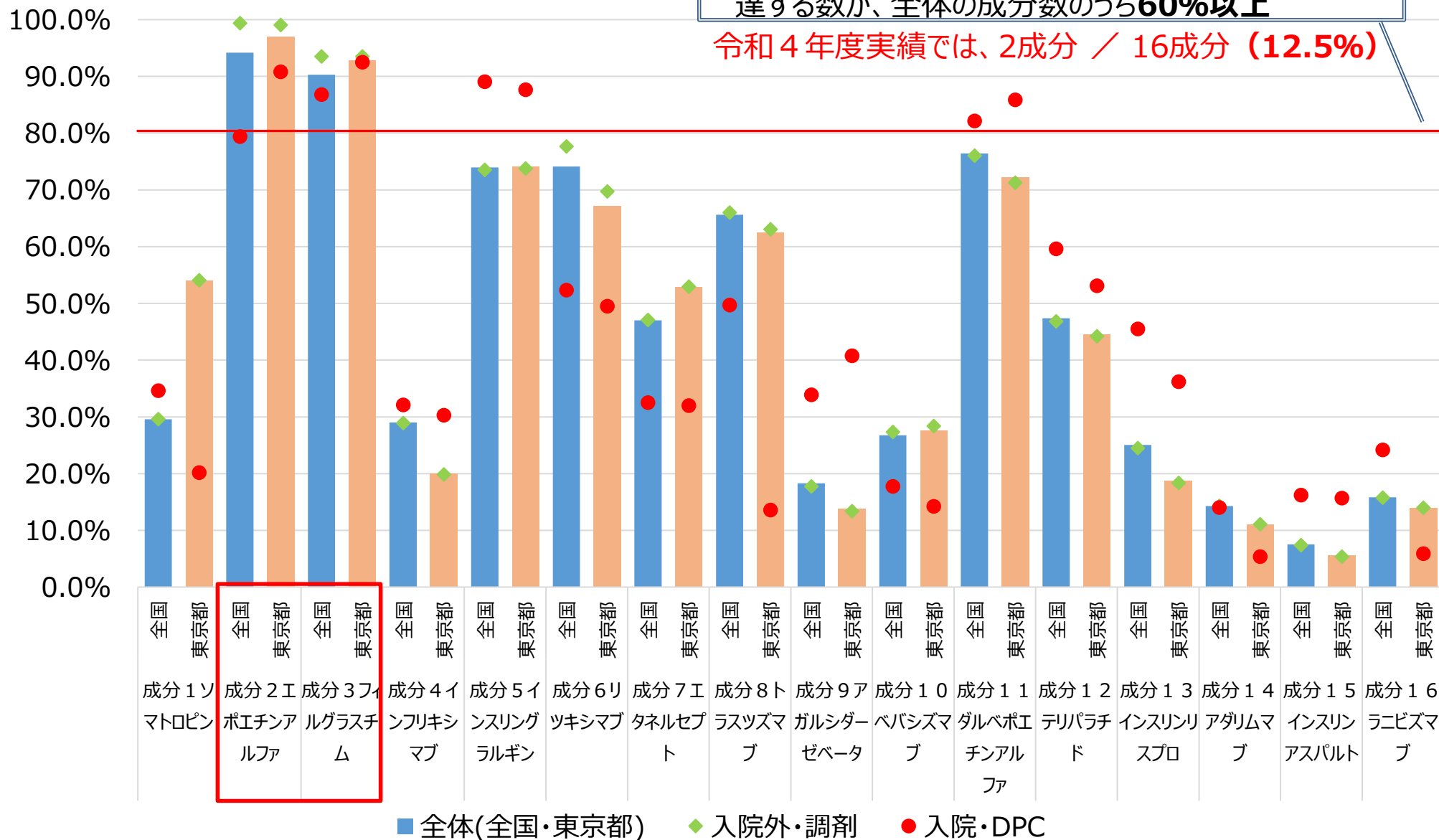
※ レセプトデータ（医科・DPC・調剤・歯科）ベースに算定した値である。

3 成分別使用割合（令和4年度実績）

目標値

成分別に、使用割合（数量シェア）が**80%以上**に達する数が、全体の成分数のうち**60%以上**

令和4年度実績では、2成分 / 16成分（12.5%）



出典：厚生労働省「医療費適正化計画関係データセット（2022年度診療分NDBデータ）」

※ レセプトデータ（医科・DPC・調剤・歯科）ベースに算定した値である。

<参考①> 後発医薬品使用割合（数量シェア）の実績把握方法

- 一般に、後発医薬品の使用割合（数量シェア）の実績は、「薬価調査」「NDBデータ」「最近の調剤医療費の動向」の3パターンにより把握され、用途に応じて使い分けられている。
- それぞれ、集計方法や公表データの作成時点などが異なることに注意する必要がある。

把握方法	集計データ	集計 頻度	都の把握		都道府県別 データの有無	用途
			時期	方法		
薬価調査	保険医療機関及び保険 薬局に医薬品を販売する 医薬品卸売販売業者の 営業所等の全数を対象と した 販売数量 の調査回答	年 1 回	毎年3月 ※前年9月の調 査結果	厚労省 HP公表	×	【国】実績値の 把握
NDBデータ	医科・歯科・調剤レセプト をもとに集計した数量	年 1 回	毎年3月 ※前年3月分	厚労省か らデータ 提供	○	【国】都道府県別 実績値の把握 【都】医適計画実 績値の把握
最近の調剤 医療費の動 向	調剤レセプト をもとに集計 した調剤数量	毎月	毎月 ※4～5か月前 の調剤分	厚労省 HP公表	○	【都】直近の状況 の把握

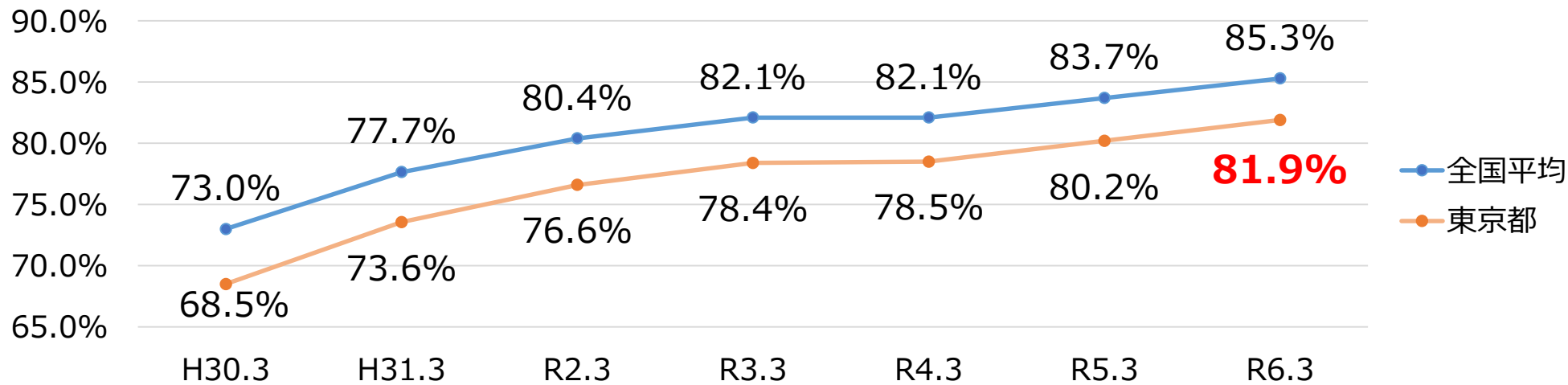
算出方法

後発医薬品の数量

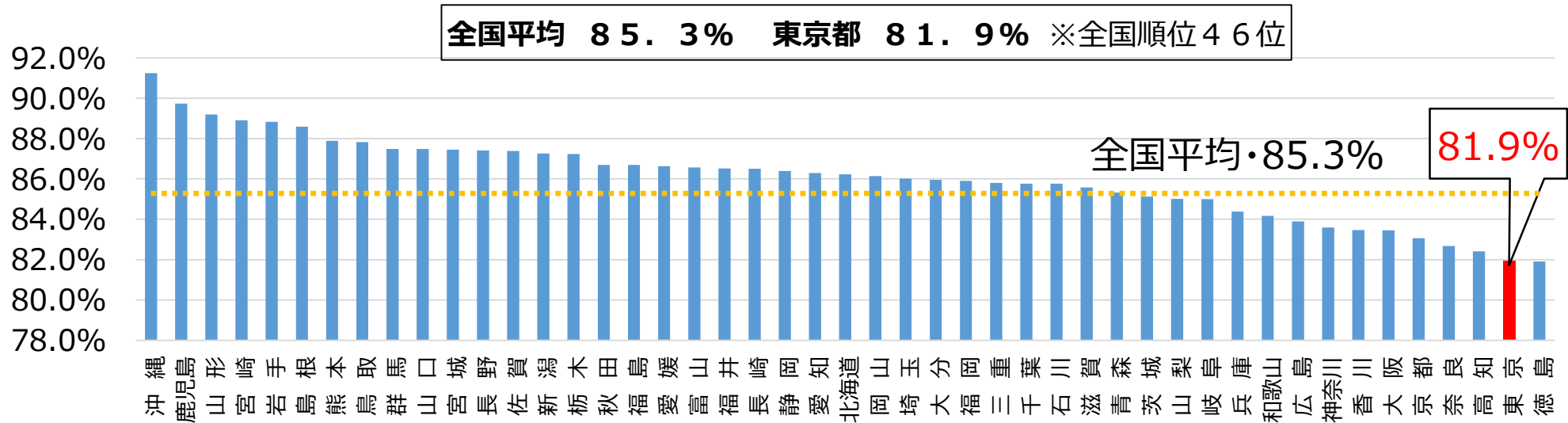
後発医薬品のある先発医薬品の数量 + 後発医薬品の数量

<参考②>【東京都】後発医薬品の使用割合（数量シェア・調剤医療費）の推移

1 東京都における使用割合の推移



2 都道府県分使用割合（令和6年3月期実績）



出典：厚生労働省「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」 令和6年3月号